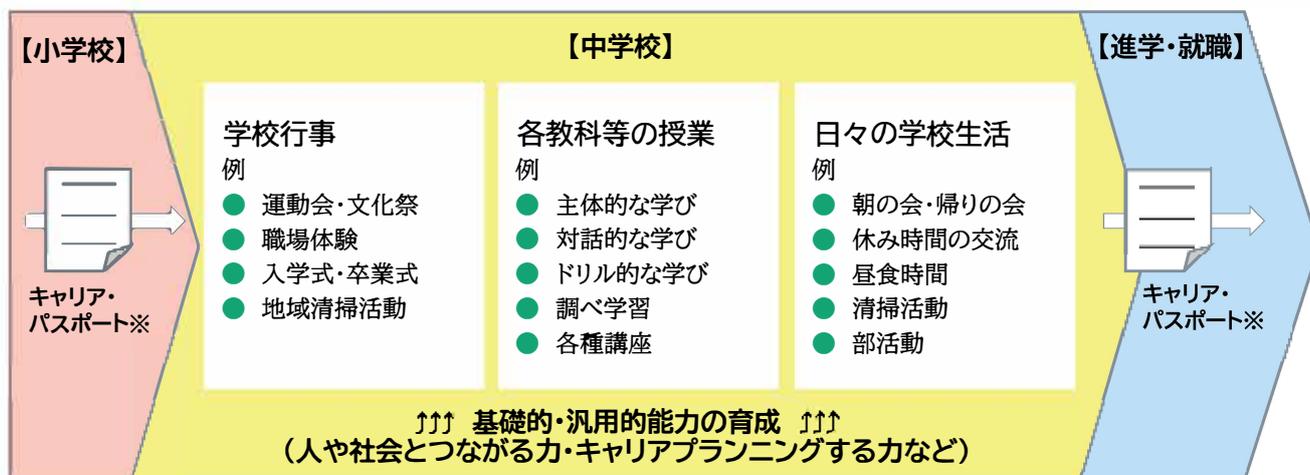


■ キャリア教育の充実

「キャリア教育」とは、子どもたちが生涯にわたり、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための力(基礎的・汎用的能力)を身に付けるもので、すべての教育活動を通して取り組みます。



※キャリア・パスポート

児童・生徒自身が自己の変容や成長を見通しをもったり振り返ったりしながら記録する教材です。小・中・高と学年と校種を超えて持ち上がり、蓄積されていきます。

キャリア教育における家庭の大切さ

自分自身の存在感を意識するためには、様々な経験や人とのふれあいが大切になってきます。

中学校だけでなく、家庭もキャリア発達に大きな影響を与えます。保護者が働く姿を見せたり、働くことの大切さについて話し合ったりすることで、子どもたちの人格形成や心身の発達に大きな影響を及ぼします。

様々な考え方や意見を聞くことができる場面を多く設定したり、家庭の中で役割をもたせたり、ボランティア活動・地域行事などに参加する機会を作るなど、子どもの自立を促すための活動の機会を与えたいものです。

子どもも大人も、地域の活動に参加してみましょう

○お祭りなどの地域行事を通じて、年齢や世代の異なる人たちと幅広く交流することができます。

地域活動の中で、子どもたちが社会の一員として地域や社会に貢献する力が育ちます。

○地域の大人が参加して学習支援などの活動を行う地域学校協働活動が実施されている地域もあります。

保護者が、そのような活動に積極的に参加する姿勢は、子どもの地域への関心を高めることにもつながります。

